

地域助産学実習

単位数：6単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授
永井 真寿美：臨床看護学講座助教
日野 佳菜恵：臨床看護学講座助教
松浦 志保：臨床看護学講座講師

1. 科目の教育方針

地域母子保健活動について多角的な視点から総合的に理解し、母子保健事業と医療・福祉との連携・協働の実際を理解する。また、助産所での妊産褥婦および新生児・乳児への助産実践を通し、妊娠期から子育て期における助産実践力の強化を図ると共に助産所の管理運営を実践的に学ぶ。地域母子保健活動における助産師の役割・働き方について考察する。

2. 教育目標

- 1) 地域における母子保健事業および母子保健活動の実際について理解できる。
- 2) 地域の母子保健活動における多職種連携・協働の実際を理解できる。
- 3) 地域における子育て支援システムについて多角的な視点から総合的に理解できる。
- 4) 地域における助産師の役割・働き方について考察する。
- 5) 助産所の経営・管理運営について実践的に学ぶ。
- 6) 助産所での妊産褥婦および新生児・乳児への助産実践を通し、妊娠期から子育て期における助産実践力の強化を図る。
- 7) 助産業務の安全性（判断基準と救急支援システム）を理解し、医療連携システムについて考察できる。
- 8) 助産所と連携する各施設・団体の活動の実際を理解できる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

1) 地域行政事業所実習

- ・実習時期及び期間：1年次後期、1週間
- ・実習場所・施設：出雲市、雲南市、松江市
- ・実習内容：母子保健事業、子育て支援に関連する事業への参加・見学
母子への家庭訪問への同伴・見学等

2) 助産所実習

- ・実習時期及び期間：2年次後期、5週間
- ・実習場所・施設：目白バースハウス、助産所ドゥーラえむあい
- ・実習内容：分娩介助を含む妊娠期から産褥期までの助産ケア
産後ケア、助産管理業務

【評価】

実習目標の達成度により評価を行う。

実習記録、妊産褥期の評価表、カンファレンス資料、実習レポート等